

彼らは命令しないのです。

半藤一利

1944年秋、零戦で敵艦に体当たりして散る特攻作戦が軍令部で起案された。ある幹部が航空隊副長を言いくるめるため、副長に任せるという上官の架空の意思を伝えると、副長は上官が承知しているならと同意した。そしてそれは「澎湃ほうはいとして下からの熱意に」よるとされた。**誰も責任をとろうとしない体制**は以後もずっと「志願」という形をとった。作家の「昭和史」から。